

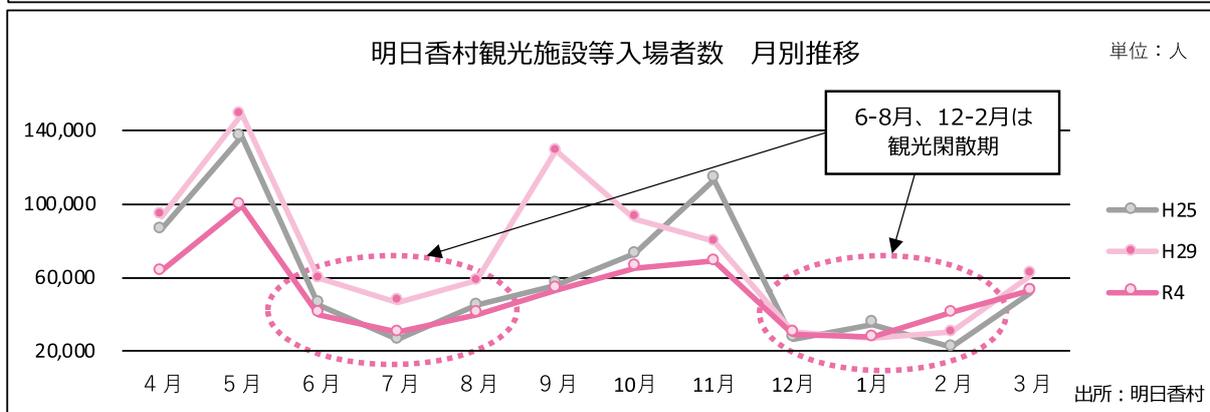
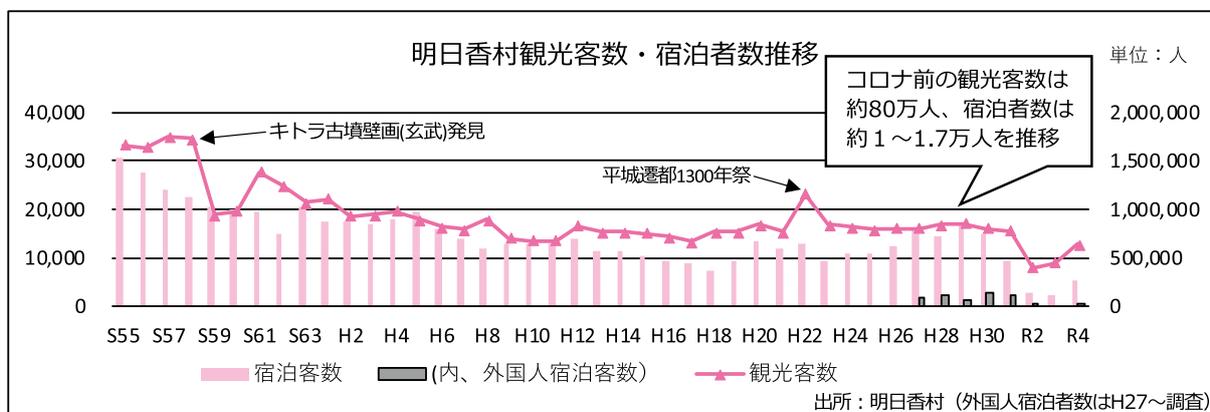
明日香村観光の取り組み

本村では、「観光」分野を軸に、農林業や商工業など幅広い産業活性化と、多様な方々が活躍できる村づくりとして、「明日香まるごと博物館づくり」に取り組んでいます。

たとえば、空き家改修により宿泊施設やカフェが開業されると、人流が生まれ、地域全体の資産価値を高めます。また、店舗で提供される飲食に村の農産物が使用されたり、従業員としての村内雇用も期待されます。

目前に控える大阪関西万博や「飛鳥・藤原」世界遺産登録は、人々が守り受け継いできた歴史文化・景観資本など地域の価値を国内外の多くの方に知ってもらう機会になります。今回は、過疎に負けない持続可能な地域運営の実現を目指した村の観光の取り組みや成果について紹介します。

明日香村観光の現況と課題



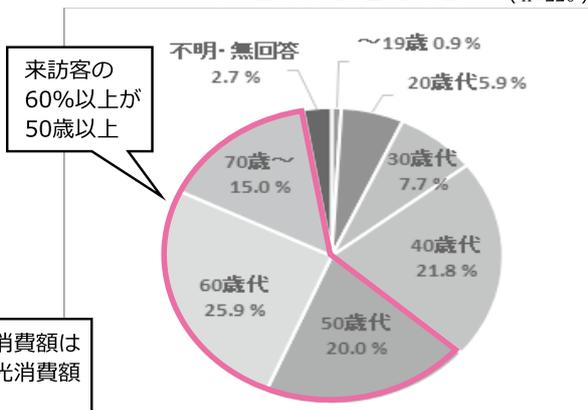
京都観光1人当たりの平均観光消費額との比較

	来訪客(平均)		
	京都観光①	明日香観光②	①-②
飲食費	5,298円	2,735円	2,563円
買い物代	6,556円	3,390円	3,166円
入場料	1,225円	823円	402円
宿泊費	-	-	-

出所：「明日香観光動向調査」(平成28年12月)、
京都市「平成28年京都観光総合調査」(平成29年6月)

村の観光消費額は
京都の観光消費額の約半分

明日香村来訪客の年齢 (n=220)



■課題に対する取り組みと成果

●企業連携・宿泊施設の誘致



宿泊施設の増加・空き家解消
→ 宿泊客数増加・景観保全

包括連携協定を締結している(株)長谷工コーポレーションが築150年の古民家を改修し、2022年3月に「ブランシエラヴィラ明日香」をオープンしました。

●プロガイド育成 ※表紙写真



人材育成・顧客満足度の向上
→ 新しいビジネスモデル創出

高いホスピタリティ・知識・安全管理技術をそなえた有料ガイドを目指す人材を育成。候補生20名の中から今年3月にプロガイドを認定予定です。

●あすかデマンド乗合交通実証運行



移動手手段の確保・利便性向上
→ 周遊促進・滞在時間延長

AIによる配車システムを搭載した乗合交通を2022年12月から実証運行。住民だけではなく、観光来訪者もアプリを使って予約し、利用が可能になりました。

●閑散期誘客・いちごキャンペーン



観光入込客数の平準化・観光消費額の向上
→ 安定した観光業の基盤構築

閑散期の冬に、村の農産物であるいちごの収穫体験、加工品販売、飲食店でのスイーツ販売を、各事業者と連携し、一体的なキャンペーンを実施。今季で3回目となります。

●オリジナル御朱印の販売



文化保存のための財源確保
→ 文化財自体を活用した収益モデルの構築

村の古墳・史跡めぐりができるオリジナル御朱印「飛鳥乃余韻」を2022年より販売開始。売上の一部は、文化財保存基金に積み立てており、積立額は220万円を超えています。

●SNSによる魅力発信

新たなファン層獲得・認知度アップ
→ 観光消費額向上

若年層をターゲットに村の魅力を発信するため、2021年公式Instagram「明日香ナビ」をリニューアル。また、同時期に、台湾をターゲットにしたfacebook「関西・飛鳥走走」を開設。現在、フォロワー数はどちらも1万人を超えています。



●地域認証の取得

質の高い地域ブランドの強化
→ 世界水準の認知度向上

国連世界観光機構 (UNWTO) が持続可能な開発目標 (SDGs) に沿った世界の優れた観光地を認定する「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の「アップグレードプログラム」に2023年、明日香村が選定されました。村は、UNWTO 及びそのパートナーから取組内容の向上に向けた支援を受けながら、2年後の認定を目指します。



観光事業に関するご相談・お問い合わせは、観光農林推進課まで ☎ 54-9020